

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：主要農作物対策費

事業名 産地収益力向上対策条件整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 水田経営係 電話番号：058-272-1111(内4117)

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 750,000 千円 (前年度予算額： 750,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	750,000	750,000	0	0	0	0	0	0	0
要求額	750,000	750,000	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

「強い農業づくり」をさらに進めるため、生産基盤の強化により、産地の収益力を強化することが喫緊の課題である。
このため、消費者・実需者ニーズを踏まえた県産農産物を安定的に生産・供給する産地体制等を構築する必要がある。

(2) 事業内容

主要農作物や園芸特産物等の産地が、創意工夫によって地域の強みを活かして進める、産地の収益力向上に向けた取組に必要な産地基幹施設等の整備や機能向上等に要する経費の一部を助成する。

<整備等を行う施設>

- ・乾燥調製施設の再編、色彩選別機、原種苗育成施設 等

(3) 県負担・補助率の考え方

1/2以内

国補助金「強い農業づくり総合支援交付金」及び「産地生産基盤パワーアップ事業」を活用する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	75,000	整備事業：産地基幹施設等の整備 等
合計	75,000	

決定額の考え方

--

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

主要農作物や園芸特産物等の産地が、高付加価値化や生産コストの低減などを推進し、産地の収益力向上にを図るため、産地基幹施設等の整備や機能向上等を支援する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	
					達成率	
①産地基幹施設等の整備（箇所）	3箇所	2箇所	1箇所以上	1箇所以上		

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>産地収益力向上対策条件整備事業により、産地の競争力の強化を図るため、穀類乾燥調製施設の再編整備2箇所、野菜処理加工施設の整備を1箇所を整備した。</p> <p>指標① 目標：__3__ 実績：__3__ 達成率：__100__ %</p>
令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>産地収益力向上対策条件整備事業により、産地の競争力の強化を図るため、</p> <p>指標① 目標：__1__ 実績：__2__ 達成率：__100__ %</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：__ __ 実績：__ __ 達成率：__ __ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない	
(評価) 2	県産農産物を安定的に生産・供給する産地体制を構築に向け、産地基幹施設を核として、高付加価値化や生産コスト低減などの産地の収益力向上や合理化に取り組む必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	産地基幹施設等が整備されることで、農産物の高い品質を維持しつつ、安定的に生産・供給する体制の確保ができ、産地の収益力向上につながっている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている	
(評価) 1	国補助金等を活用している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 「ぎふ農業・農村基本計画」に基づいた強い農業づくりを実現するため、産地基幹施設等の整備や機能向上等を支援していく。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 強い農業づくりをさらに進めるため、支援を継続していく。
